平成 29 年度第 2 回仙台市障害者自立支援協議会	
平成 30 年 3 月 14 日	資料 11

平成 30 年度の仙台市障害者自立支援協議会について（案）

１．経緯

区自立支援協議会（以下、「区協議会」とする。）については、平成 27 年度の設置からまもなく 3 年が経過し、各区独自の取り組み等も盛んである一方、区協議会そのものの評価や求められる機能の振り返りが必要な段階にきていると言える。

また、今年度の各部会の議論を振り返ると、地域生活支援拠点等検討部会（※１）では、登録者の支援方針の検討の場として、障害者相談支援体制あり方検討会（※２）では、重点的に関わる対象者の支援方針の共有の場として、いずれも区協議会を想定している。

※１　部会としては平成 29 年度をもって終了し、平成 30 年度は事業化に向け、事業に密接に関わる委員構成での会議体を継続の予定。

※２　検討会としては平成 29 年度をもって終了予定。

２．方向性

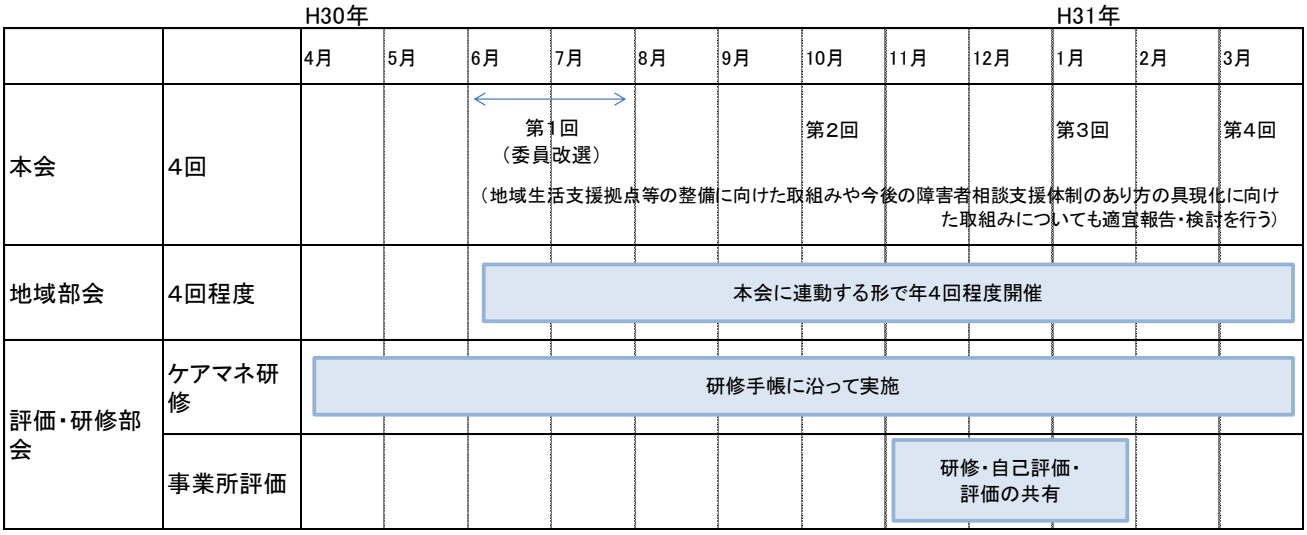
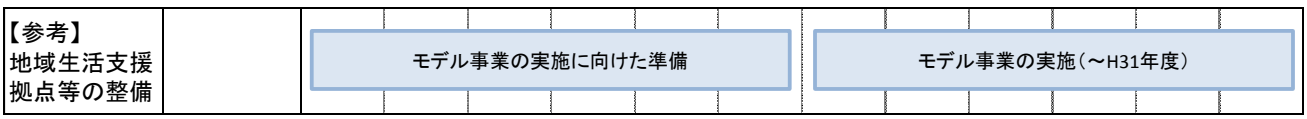
上記を踏まえ、平成 30 年度の仙台市障害者自立支援協議会では、区協議会の現状把握・課題抽出を行い、より望ましい区協議会の体制等についてまとめることとしたい。また、その議論の場として、本会と地域部会を位置付ける。

３．協議の内容とスケジュール

（１）本会

地域部会でまとめられた内容の報告を受け、意見交換を行う。また、地域生活支援拠点等の整備に向けた取組みや「今後の障害者相談支援体制のあり方」の具現化に向けた取組み等についても、適宜報告や検討を行う。協議会での検討事項が増加することを踏まえ、現在は年度当初と年度末の２回である開催回数を、年４回に変更する。

（２）地域部会

実務者レベルを中心に区協議会の現状や必要な機能について、議論する。地域部会で話し合った内容を適宜、本会へ報告し、意見聴取を行う。なお、これまで地域部会で行ってきた地域のインフォーマル・ナチュラルな資源を共有し、蓄積していくことも同時に進めていく。

【平成 30 年度仙台市障害者自立支援協議会の予定】